

経営と健康



ミスターよ永遠なれ「長嶋茂雄物語」(中)

講談師 一龍齋貞花

猛練習や新人起用に上級生が反発、監督排斥運動の急先鋒が、当時キャプテンの大沢親分でした。

遂に立教大学恩師砂押監督退陣。

昭和32年11月3日、最終戦に六大学新記録の8本目のホームランを叩き込み春秋連続優勝を成し遂げ、

「ナア杉浦、これで砂押さんへの恩返しも出来た」

「うん、会いたいなー監督さんに」

「砂押さんは今、日鉄日立の監督をしておられる。どうだみんな、日立へ遠征して親善試合をしようじゃないか」

「異議なし」 「賛成、賛成」

出迎えの歡迎陣の輪からはずれた処に眼鏡を光らせながら、ひっそりとたずむ男の姿がありました。

「監督さんだ、監督さん」

皆駆け寄った。

「長嶋か、待っていられなかったんだよ、嬉しくてな、有難う。杉浦有難う、本屋敷よく来てくれた。シゲおめでとう、よかつたな」

「有難うございます。監督さんのおかげです」

久方ぶりに手を握り合った恩師と弟子たち。お互いの胸は再会の喜びにふるえ、キラキラと感激の涙が光っておりました。

長嶋さんのエピソード、裏話

長嶋さんがお亡くなりになり、講談「長嶋茂雄物語」を口演、CDを依頼されて制作しておりますので、長嶋物語を書きましたところ、事務局から「電材の社長さんたちの多くが長嶋さんの

ファン、2回といわず書いてほしい」といわれ、エピソード、裏話もいいのではないかと、長嶋さん、杉浦忠さん、杉下茂さん、星野仙一さん、堀内恒夫さん他、新聞記者から伺った話、許可を得た記事からエピソードを綴ってみたいと思います。

卒業試験は、長嶋茂雄と名前を書いただけで卒業。

「オレが運転して車に乗せてやった時、シゲの奴オレに乗せてもらっているのも忘れて、オイ運ちゃんと言われたよ」と大先輩千葉茂さん。

「スパイクが汚れている。オッ黒いきれがあるぞ、これでふこう」とピカピカに磨き上げたところへ、黒江さんが入ってきて、「アッ、チョウさん、そればくの靴下ですよ」「同じ部屋で寝ている時夜中にむっくり起きると、僕の頭

の上でビュー、ビューとバットを振るんです。驚きました」と私の会で黒江さん。

「遠征先の食堂、スイカが並んでいると頭のおいしいところが次々と、長嶋さんじゃ仕方ないと皆笑ってましたよ」と、自主トレはじめいつも同行してお手伝いした淡河さん。日ハムの二軍コーチの時、「中日のコーチに紹介してくれないか」「私はそんな力ありませんよ、長嶋さんが口を聞いてくれるんじゃないですか」「あなたは球団社長や代表をご存知だから、淡河というコーチは如何ですと、言ってくれるだけでいいですから」と後輩などの就職先に気を使った星野仙一さんとの違いです。野球中心でした。

試合終了後、「オレの車の鍵がない」皆でロッカー中探し回ったがない。しばらくすると「タクシーで来たんだ、淡

河乗せてつてくれよ」 こうして淡河さん、長嶋さんのお手伝いをするようになりました。

藤純子さんのお父さんである東映のプロデューサー俊藤さんに誘われ料亭で同席したことから、藤純子さんと噂になったり。好きなタイプの女性とは聞かれ、「八千草薫さんみたいな人」と、答えればかりに、八千草さん似の女性がマークされるという椿事まで。

司葉子さんの家へも度々遊びに行ったり交遊があつたことから随分噂に。

その後司さんは、衆議院議員となる相沢さんと結婚、相沢さんテレビを観ていて、長嶋が三振すると、「おーい、彼が三振したぞー」

淡島千景さんとも噂がありましたし、当時池袋西口に三業があり、武蔵野という大きな料亭の娘さん、実にきれいな女性だったそうで、しばしばお通いになったとか、英雄色を好むア、こりゃここだけの話です。

片方の足にソックスを二枚はき、「オレの靴下がない」と大騒ぎ。

星野仙一さんと燃える男同士の対決「仙ちゃんいらっしやい」仙さん思わず気が抜けたと。111打数26安打、7本塁打、20打点、打率.234、これ

が対戦成績。

石原裕次郎―長嶋の当代人気スターが雑誌で対談以来親友となり、ヨーロッパへ行く裕次郎を見送りに羽田に駆けつけた長嶋は、すでにエンジンが掛り今正に動かんとする飛行機を止めたことも。飛行機はエンジンが掛つたら余程のことがない限り止まることはないそうですから二人の人気の凄さがお判り頂けると思います。

人気、実力から長嶋茂雄主演による「ミスタージャイアンツ勝利の旗」という映画も制作されました。

宇野光雄さんのビアホールへ行くと、「巨人には宇野さんという名手がいるから出られない、大学へ行くというあのだりをしゃべろ」

昭和39年10月17日午後6時20分、ホテルニューオータニ1階ロビー、これが長嶋と西村亜希子さん運命の出会いでした。東京オリピックコンパニオンの亜希子さんに一目ぼれ、毎朝6時に起きて西村家を訪れ、夜は毎晩必ず電話を掛ける猛烈なアタック、グラランドと変わらぬひたむきさでハートを射止め、出会いから101日目に渋谷南平台カトリック教会で結婚式、社会的に一人前になった記念と、全国の心身障害児童施設に2百万円を寄付する善行。昭和

39年当時の2百万円です。

「男がひと度家を離れたら家族のことは考えるべきではない」と、新婚旅行を取りやめ箱根金時山にこもって、トレーニングに打ち込んだ。

私はその後大仁の自主トレの時、日本テレビの収録で部屋へ、網が張られティーバツティングで畳はすり切れ、次の間でこたつに入り鍋を囲む。

へ巨人の陣屋より現れました豪傑、鎧の胸元押し広げ胸毛を夜風にソヨとなびかせながら……。長嶋さん引っくり返つて大受けでした。

宮崎キャンプの取材では、選手の部屋に入ることは禁じられていたんですが、「おいでよ」と部屋へ。お茶を入れると「悪いね」「このお茶美味しいですね」「八女茶だよ」と二袋お土産に頂きました。

二歳の一茂君を球場へ連れて行き、この日三振ばかりしていたので心ここにあらず、試合が終わるとサッサと一人で帰ってきて、奥さんから「あなた、一茂は」「イケネエ忘れて来ちゃった」。この話は有名でご存知の方多いと思います。長嶋語録も多いんですが、次号に譲るとして、一つ紹介。

61年3月、アメリカペローチキャンプ

で、「アメリカの子供は英語がうまいや」楽しいですね。

金田正二巨人に入団

長嶋が結婚した昭和40年、B級10年選手の特権を行使して好敵手金田正二が巨人に入団、

「シゲ、なんやもつと走らにやいかん、練習せにやいかん、身体の手入れも忘れちゃいかん、そんなことじゃあと5年しか持たんぞ」

決して練習が嫌いではなかった長嶋に、より一層練習の重要さを語り、身体の手入れの方法から、食べ物の大切さを教えました。

キャンプ地にホワイトホース1ダース送り、身体を冷やすからと水割りには飲まない、お湯割り、鍋を囲む。さつさと食事をすませ麻雀をする選手をさとした金田さん。長嶋が17年間第一線で活躍できた陰には金田の力が大きく貢献し、巨人軍に猛練習という財産を残したのです。長嶋、王として前半城之内、後半堀内の活躍で巨人は9連覇を成し遂げたのでございます。

次回後年の長嶋さんにご期待ください。